

# 光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～



今月の表紙：子年生まれの子どもたち  
(紹介は14ページ)

2020.1  
No.  
553

# 新しい時代に 向かって



常呂町農業協同組合

代表理事組合長 川上 和則

## 昨年を振り返り

組合員の皆様におかれましては、輝かしい令和2年の新年を迎えられましたことに、心よりお慶び申し上げます。さて、昨年を振り返りますと、5月1日に、『平成』から新しい元号『令和』へと変わりました。

本町農業におきましては、2月からの玉葱播種を皮切りに、てん菜育苗とはじまりましたが、暴風雪によるハウス被害などもなく、順調な育苗からスタートしました。

雪解けも早かったことから、4月の播種移植作業は春まき小麦をはじめ玉葱、てん菜、馬鈴薯と平年より4〜10日ほ

ど早く開始されました。

5月20日には強風により、一部植え直しが発生しましたが、その後は温暖少雨の天候で管理作業も順調に進むとともに、適度にまとまった降雨もあり、作物全般順調に生育が進みました。

こうした良好な天候と組合員の努力が功を奏し、収穫では平成27年以来4年ぶりにどの作物とも豊作となり、農家所得も目標値を概ね達成する見込みとなっております。令和として大変すばらしいスタートを切ることができました。一方で、全国的には台風や豪雨が多発し、九州北部や千葉県などで甚大な被害もたらされました。近年、日本各地では毎年のように水害が発

生しております。本町としましてもかねてから要請しております常呂川流域の排水対策について、国や北海道、北見市とともに取りすめを頂いておりますが、近年は特に大雨による被害も多発していることから、排水機場の早期整備のため引き続き連携して参ります。

農業を取り巻く情勢は、昨年2月に日EU・EPAが発行となるとともに、日米貿易協定は10月に署名、国会審議も不十分のまま12月に承認案が可決されました。これらの協定により、特に酪農や小麦、甘味資源など、北海道農業の

## 農業情勢に注視を

基幹作物へは計り知れない影響が予想されることから、その動向を注視していかなければなりません。

## 第8次農業振興計画の総括と第9次農業振興計画の策定を

さて、本年は第8次農業振興計画の最終年です。コスト削減と生産量の増収安定化、農業所得増加を目標に取り進めておりますが、最終年の総括として、改めて農業の基本形を遵守し、輪作体系の維持や有機物施用など「TOKORO型クリーン農業」の実践を取り進めていく必要があります。

また、同時に本年は第9次農業振興計画の策定年でもあります。第8次同様、近年多

発する異常気象にも耐えうる「TOKORO型クリーン農業」の実践に基づく土づくり、近い将来に間違いなく訪れるであろう担い手不足に対応するため、農業機械の技術革新として国も重点的に力を注いでいるスマート農業など、これから10年後、20年後の国土景観、地域維持など多面的機能を有する農業の衰退を防ぐために、次なる課題と目標を策定しますので、組合員やJA役員が結束して実践して頂くよう皆様のご理解とご協力をお願い致します。

結びに、本年も組合員の皆様健康に留意され、常呂農業が更なる発展と成長をめざし、豊穡の秋を迎えられますよう心からご祈念申し上げます。新年の挨拶と致します。

# 令和2年の 年頭にあたり



## 北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔 章

組合員並びにJA役職員の皆様には、輝かしい令和2年の新年を迎えられたものと心より、お慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の北海道農業は、春先に道内各地において強風に見舞われ、広範囲にわたり農業被害が発生し、一部時き直しが必要になった地区も発生しました。

その後は干ばつなどもありましたが、天候は順調に推移したことで収穫も進みました。お米の作況指数が104の

「やや良」、小麦、てん菜は平年作以上となる結果となり、生乳は良質な飼料作物確保による安定的な生産が見込まれ、作目によって違いはありますが概ね良い出来秋を迎えることができたと感じております。

しかしながら、全国的には8月末に発生した九州北部豪雨や、9月、10月と東日本を中心に大きな被害をもたらした台風15号、19号など、大規模な災害が発生した年となりました。

北海道においても一昨年、胆振東部地震により多くの支援を頂いた経過にあり、JAグループ北海道として全国連と協力し積極的に支援をして参りたいと考えております。国際貿易交渉については、

昨年2月1日に日EU・EPAが発効となり、日米貿易協定は昨年10月に署名がなされ、国会審議を経て12月4日に承認案が可決されました。日米貿易協定の影響試算では、1、100億円の生産減少額のうち3〜4割が北海道への影響とみられており、JAグループ北海道として北海道農業への影響を最小限に食い止める対策や、生産者の不安を払拭することを昨年より国などに

対して要請を行っております。今後も動向を注視し、北海道農業が犠牲とならないよう毅然とした対応を求めてまいります。

さて、JAグループ北海道は、昨年11月12日に第29回JA北海道大会決議事項の実践

事例や現状の課題を、JAグループ全体で共有すること、内外に実践状況を発信することを目的として、JA北海道大会実践フォーラムを開催したところです。

引き続き、組合員・JA・連合会・中央会が一体となり、大会決議事項の実践に取り組む、基本目標の達成につなげてまいります。

結びになりますが、今年の干支は庚子（かのえね）です。子には、「ふえる・しげる」の意味があり、種子の中に新しい生命がぎざし始める状態だといわれています。

今年はこの庚子年にあやかり、農業にとって輝かしい未来が芽生く年となること、併せて北海道農業並びに組合員、

役職員の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶といたします。

# 国際化に負けない 常呂の農業を



常呂町農民同盟  
委員長 梅田 俊 則

## 昨年を振り返って

新年あけましておめでとう  
ございます。

昨年中は、当同盟の活動に  
対しまして、組合員の皆様の  
深いご理解とご協力を頂き、  
心よりお礼申し上げます。

昨年の常呂の農業を振り返  
りますと、春の播種作業は天  
候に恵まれ順調に終わりました  
が、5月19日から21日の暴  
風による被害が、てん菜や馬  
鈴薯に見られ、その後も干ば  
つ傾向の天候が続き各作物の  
作況が心配されましたが、全  
ての作物において豊作の結果  
となり、組合員の皆様の作物  
に対する日々の努力が報われ  
た年になりました。

酪農につきましては、年度  
後半より牛の個体価格が下が  
り、心配されていますが、乳  
量についてはほぼ計画に近い  
生産量でした。また、牧草、  
デントコーンについては、質  
量ともに良い結果となってい  
ます。

## 目まぐるしく 変わる農業情勢

さて、一昨年の12月30日に  
TPPが発効され、続いて日  
EU・EPAが昨年の2月1  
日発効されました。そして、  
今年の1月1日に日・米貿易  
協定が発効となりました。わ  
ずか、1年の間に3つの大き  
な貿易協定が発効される事態  
となりました。どの協定につ  
いても国会で審議時間が不十

分であり、結論ありきの審議  
であったと思えません。  
これらの貿易協定で予想され  
る、日本農業への影響は計り  
知れないものがあり、特に酪  
農や畜産、小麦や甘味資源作  
物などは、大きな影響が予想  
されています。当同盟は、地  
区連盟や道農連と連携を取り  
政府に実効性のある対策を求  
めていく所存であります。

また昨年の10月1日より、  
消費税が10%に増税され、同  
時に飲食料品については8%  
のままの軽減税率が実施され  
ております。ただ、旧8%と  
新8%では、国税分と地方税  
分の割合が違ったため、これか  
ら行われる確定申告の計算に  
は、6つの税率が混在するこ  
ととなり、混乱が予想されま

す。当同盟といたしましては、  
農業青色申告会と協力し税務  
署や税理士からの新しい情報  
を常に皆様に伝達し、申告が  
スムーズに終わるよう努めて  
参りたいと思っております。

結びに、常呂の農業が今年  
も豊穡の秋を迎えられること  
を心よりご祈念申し上げ、年  
頭のご挨拶とさせていただきます。

# 担い手の創意で築く、 豊かな地域農業を



網走農業改良普及センター

所長 石川 卓 治

## 作柄良好

明けましておめでとうございます。  
令和2年の新春を迎え、皆様のご健康とご繁栄を心よりお慶び申し上げます。

皆様には、平素から道政、特に農業改良普及事業をおとし、農業改良普及センターの活動に対しまして格別のご支援とご協力を賜り、感謝を申し上げます。

さて、昨年の作況を振り返りますと、4月下旬以降は好天に恵まれ、各作物の播種、植付作業は順調に進みました。しかし、作物の初期生育段階では強風により、てん菜（枯死・消失）、小豆（種子

露出）、馬鈴薯（培土崩れ）

で一部被害が発生するなど、その復旧作業に追われ、心中不安の中、営農がスタートされたこと存じます。その後は、高温、少雨傾向で推移しながらも、大きな気象災害もなく、各作物とも順調な収穫が行われました。

作柄は、牧草の収量が平年を下回ったものの、各作物とも平年を上回る収量を確保でき、豊作年となりました（てん菜・小豆は過去最高）。このことは、皆様の日頃から、きめ細やかな営農管理の賜物と、深く敬意を表すところでございます。

## 近未来を想定、 担い手の変化の きっかけづくり

地域農業においては、「高齢化」などによる農家戸数の

減少が進む中、個別経営体での面積規模は上限に近づいており、後継者確保と育成に向かって更に力を注ぐ時期となっております。多様な担い手を育むことが農業振興の命題であり、個別経営を活かしながらも、経営手段としての法人化、協業化組織を組み合わせた経営体への移行も必要になってくると考えます。また、直面する課題として低コスト化、省力化への取組が必要であり、ICT農業などの導入を積極的に推進する必要があります。

ります。安全・安心で信頼される農産物供給は普遍的な理念として啓発しつつ、論拠となるクリーン農業推進、生産工程記録を更に進めることも必要となっております。

いずれにしましても、重要なことは、地域農業の展開方針は地元農業者が知恵を出し合い、具体的な行動がその根幹となります。そのためにも、若齢層農業者と女性農業者の活躍が、より重要となります。

普及センターも常呂の農業者に寄り添い、関係機関の皆様と協働し、地域が元気に、持続的な営農が推進されていくことを願い、微力ながらご支援させていただきたく思います。

本年が皆様にとりまして健康で希望に満ちた良き年となり、また、豊穡の秋を迎えることができますよう心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

# ベトナムの技能実習生事情や農業を学ぶ

## 宮農集団長会海外視察研修

J Aとところ宮農集団長会（関谷英治会長）は11月20日～24日、3泊5日の行程で7人が参加し、ベトナムへの海外視察研修を実施しましたので、概要を報告します。

### エスハイ社

21日に訪れた視察先は、ベトナム人材に対する教育事業を核とした人材開発を行う派遣企業のエスハイ社で、社内を営業部門顧客開拓サポートで日本人の内海野花チーフに案内して頂きました。



### エスハイ社が掲げている KAIZEN 姿勢七か条

創業者である代表取締役のシロソノ社長が平成7年、日本に留学のため来日し、先進国としての日本の技術や仕事に

対する考え方・姿勢に影響を受け、技術力の低いベトナム人を日本で研修させ、帰国後に国内で活躍してもらうことを目標に、人材教育企業として同社を設立しました。

同社は、ベトナム人材への教育・研修、技能実習生派遣、高度技術者紹介、帰国者への国内人材紹介、ベトナム進出企業へのサポートを行っています。

学生は、仕事に活かせる日本語教育やビジネスマナー、マインド教育などを行っており、学校には下駄箱や分別ごみ箱が設置されるなど、勉強以外にも日本の文化やルールの習得などの取り組みがされています。

30人程度が在籍する教室へ訪問すると、教室へ入るや否や「こんにちは！」と元気な声で迎えられました。今回の研修では2クラスを訪問、年明けに北海道へ外国人実習生として来道する学生がら人お



教師からの質問に挙手する学生

農業分野は後継者不足が深刻となっており、今後は当J Aでも、こうした外国人実習生の受け入れについても検討していかなければならないと感じました。

耕作面積は20haで大根や馬鈴薯、食用の木の葉、葉物野菜を作付しています。日本とは異なり、土地はすべて国有のため、農地は国と賃貸契約を結んでいます。

今回案内された圃場は葉物野菜を作付していました。細かく区画分けされた畑では、ベッドを作り、ベトナムのスーパー向けのシユート野菜や青葉類など、多様な葉物を作付していました。

年間を通じて温暖なため、葉物野菜は、播種から収穫まで概ね1ヶ月、その後半月の休閑期間を設け、1年におよそ8作栽培しています。収穫が途切れないよう、時期別に栽培しています。

収穫された野菜は、市場に

### 農場TRAN PHU TRNG

22日に訪れた視察先は、農場TRAN PHU TRNG というホーチミン市にある農業法人です。

この法人は、当時6戸の農家が参加して設立し、20年を迎えた今、30人の従業員が在籍しています。

販売され、ホーチミン市を中心に流通しているそうです。

この農場も、担い手不足が課題となっており、手作業ゆえに若者は農業をしなからず、従業員の平均年齢は40歳を超えているとのこと。一次産業は日本以外にも担い手不足なのを痛感しました。

### 研修を終えて

5日間の研修でしたが、これからの農業を発展させていくためには、その下地に省力化や効率化が求められ、若い担い手の確保はもちろん、外国人実習生の受け入れなども必要であると感じました。



農場の概要を聞く宮農集団長たち

# もっとう一つの産業への理解と 農業意欲向上へ向け

～女性部・フレッシュジュミセス部会役員視察研修に12人が参加～

J Aとこころ女性部とフレッシュジュミセス部会の役員による合同視察研修が11月15日に行われ、役員12人が参加しました。今回は「常呂を盛り上げるもっとう」の第一次産業と管内のJGAP取得先で農業意識を高めよう」をテーマに常呂漁業協同組合と佐呂間町にある株式会社はまほろを訪れました。

す。漁協では年中を通し新鮮な魚介類の漁獲販売を行っています。オホーツク海での帆立漁業・秋鮭漁業・毛がに籠漁業をそれぞれ権利者全員の共同経営とし、事務局を職員が担当。組合員全員に帆立稚貝の採苗と出荷を義務付け、毎年5月にオホーツク海に放流しており、前浜を畑のように四箇所に区切って順番に操



説明を行う山崎参事



漁協100周年DVDを見る参加者の皆さん

次に訪れた株式会社はまほろでは、榊林克幸代表取締役社長より会社概要やJGAPを取得した経緯などの説明のほか、綺麗に整理整頓された機械整備庫と貯蔵庫を見学させていただきました。初めは酪農法人を作ろうとしていた同会社ですがバブルの崩壊などの理由



説明を行う  
榊林代表取締役社長

業と放流を繰り返しています。(四輪採制) 栄浦・浜佐呂間には、漁港近くに増養殖作業保管施設を建設。組合員はこの施設で養殖漁業や他の漁業の作業をしているそうです。

で断念。平成12年から法人化プロジェクトを立ち上げ、機械利用組合をベースに平成20年に農家14戸で設立しました。東京ドーム約110個がすっぽり収まる550haの広大な農地で、栄養価と機能性に優れた、安心安全な農産物の生産、加工、販売をしています。役員7人・正社員10人、臨時12人(内7人はベトナムからの技能実習生)・通年雇用24人の計53人で運営しています。現在、従業員で経営タイプの人を見つけたら経営者になれるよう育成し、経営者にして会社を渡していくという事をしています。また、会社のレベルアップと社員教育のため平成30年7月には穀物2016・青果物2016 530ha、10品目でJGAPを取得。従業員の



整理整頓されている機械整備庫を見学する参加者の皆さん

募集には農業人フェア(東京) 8年に5回程度行っているそうです。今回参加した役員は「農業と漁業が盛んな町で漁業のことも知ることが出来て良かった」とどこに何があり、どれだけあるのか、ちゃんと記録をつけ倉庫も整理整頓し日々農業に奮闘していきたい」と話しました。

# J Aとこころ創立70周年記念 積立貯金旅行実施

平成30年度に創立70周年を迎えたJAとこころ(川上和則組合長)は、組合員・貯金取引者を対象とした積立記念旅行を企画・募集し、23人参加のもと記念旅行を実施しました。

「先人が岐阜県から入植した縁」「JAいび川との友好提携」を締結している関係から旅行先は岐阜方面となりました。

初日はあいにくの雨模様でしたが、その他の行程は天候にも恵まれ秋晴れの中、世界遺産「白川郷」や歴史ある「兼六園」「岐阜城」などを見学しました。陶芸体験では先生の指導の下お皿やマグカップなどを作成し世界に一つしかない思い出の品を作ることができ

ました。参加した方は「焼き上がりを楽しみだね」と話しており食事の際お皿を見ると毎回陶芸の話をして盛り上がっていました。また、訪れた土地の名物を味わうことができ、参加者の皆様は思い出に残る旅行になったことと思います。



写真上：陶芸体験に励む参加者の皆さん  
写真下：いび川農協の歴史や特産品について学びました



記念旅行に参加した皆さん(兼六園)

## 原料から砂糖ができるまで

常呂町甜菜振興対策協議会 視察研修を行う

(植松孝雄会長)は、11月11日〜12日の2日間、日甜美幌製糖所を視察し、植松会長を含め21人の甜菜協議会の婦人が参加しました。

視察先では、日甜美幌製糖所の川口淳一次長より今年度のおてん菜の状況説明を受け、今年完成したヨーロッパ式パイラーと定置パイラーを見学しました。過去に無い常呂町の大きいビートに参加者の皆

さん、驚きを隠せませんでした。次にてん菜についての説明を受け、原料から砂糖が出来る工程を学び、また、普段見ることが出来ない工場内の見学を行いました。

今回の視察を終えて、てん菜は北海道における重要な畑作物であり日本の食生活に欠かせない重要なものだと改めて認識できた視察研修となったのではないのでしょうか。



山積みのかぶとを見る参加者の皆さん



パイラーを間近で見学する参加者の皆さん

# 豊作の秋に感謝込め

JAところ（川上和則組合長）が主催の「新穀感謝祭」が11月20日、常呂神社で行われ、収穫が無事終了したことへの感謝を込め、JA役員、各生産組織代表、関係機関26人が出席し、玉串を奉納しました。

め作物の生育も順調に進み豊作の年となりました。無事収穫ができたことは組合員各位の努力と関係機関の協力の賜物である」と感謝の言葉を述べました。

当JAの川上組合長は「今年は雪解けも早く春の播種移植作業が順調にスタートしました。が、5月に強風の影響で植え直しが発生した圃場もありました。しかしながら、干ばつ傾向ではあったものの管理作業も順調に進み、その後適度にまとまった降雨もあったた



● 感謝の言葉を述べる川上組合長

# 常呂産農産物を首都圏にPR

JAところは、11月16日、17日の2日間、東京都練馬区にある光が丘公園で開かれた第22回JA東京あおば農業祭に出店しました。

両日とも天気に恵まれ多くのお客様が来場し、当JAブースでは、玉葱や馬鈴薯などの農産物、シトルトゼンさいなどの加工品を求め多くのお

客様に足を運んでいただきました。

「毎年このブースを楽しみにしています」、「毎年常呂産の農産物を購入しています」などといったお声も頂き大盛況の内に終了しました。

次年度以降も出店し、常呂産の農産物を首都圏の消費者にアピールしていく予定です。



● 農産物を販売する施設コントラ課の伊能瑞希職員

# 常呂総合支所へ食材贈呈

JAところは11月19日に地域の学校給食などで活用してもらおうと常呂産玉葱などを北見市常呂総合支所に寄贈しました。

この取り組みは地産地消と食農教育を推進し、地域農業への理解を深めてもらうことを目的に平成22年から行われており、今年で10回目となります。

今回は玉葱400kg、常呂産小豆を使用したシトルトゼ

んさい360パック、常呂産小麦「きたほなみ」を使用した流水うどん200袋を川上組合長から北見市の辻孝宗常呂自治区長に手渡しました。

贈呈式で川上組合長は「子どもたちに、食を通して農業への理解を深めていってほしい」と挨拶しました。これらの食材は、小中学校の給食や保育所のおやつに使用される予定です。



● 農産物の贈呈を受ける辻常呂自治区長(左)

# 新年あけまして おめでとうございませす

## J A と こ ろ

会 長 小野寺 俊幸  
 代表理事組合長 川上 和則  
 副組合長 江田 哲  
 生産担当委員長 羽石 規靖  
 理事 林 孝広  
 “ 石澤 彰  
 “ 鈴木 洋平  
 “ 石山 茂実  
 “ 今橋 剛  
 代表 今橋 正弘  
 監事 井原 久敏  
 監 小原 啓人

### 常呂町農民同盟

委員長 梅田 俊則  
 副委員長 中島 稔  
 書記長 伊藤 憲男  
 役員 一同

### 常呂町玉葱振興会

会長 泉 直喜  
 副会長 佐藤 文彦  
 “ 清井 太郎  
 役員 一同

### 常呂町種馬鈴薯生産組合

組合長 関谷 英治  
 副組合長 小原 正嗣  
 役員 一同

### 常呂町加工馬鈴薯生産組合

組合長 内藤 靖彦  
 副組合長 山内 直喜  
 “ 大友 崇之  
 役員 一同

### 常呂町甜菜対策協議会

会長 植松 孝雄  
 “ 山内 直喜  
 役員 土田 竜也  
 一同

### 常呂町澱原馬鈴薯部会

部長 田房 和彦  
 副部長 野瀬 一見  
 “ 芥川 将明  
 役員 一同

### 常呂町麦生産部会

部長 渡邊 修平  
 副部長 田房 浩幸  
 “ 藤澤 伸光  
 役員 一同

### 常呂町小豆生産組合

組合長 林 靖士  
 副組合長 植松 正仁  
 “ 守屋 徹  
 役員 一同

### 常呂町ミニク 耕作者部会

部長 森澤 正太  
 副部長 山内 英之  
 役員 一同

### 常呂町南瓜生産組合

組合長 植松 正仁  
 副組合長 堀田 雅仁  
 “ 土田 竜也  
 役員 一同

### 常呂町酪農振興会

会長 山浦 靖人  
 副会長 横山 弘行  
 役員 一同

### 常呂町農協青年部

部長 安藤 貴彦  
 副部長 今橋 博行  
 書記長 清尾 佳祐  
 役員 一同

### 常呂町4Hクラブ

会長 山本 将大  
 副会長 麻島 大賀  
 会計 齊藤 太賀  
 役員 一同

### 常呂町農業担い手 受入協議会

会長 林 健志  
 副会長 佐藤 文彦  
 役員 一同

### 常呂町農協女性部

部長 寺町 敬子  
 副部長 小野寺 真美  
 “ 石田 良美  
 役員 一同

### 常呂町農協女性部 フレッシュミセス部会

部長 林 理沙  
 副部長 清尾 歌奈  
 役員 一同

### 常呂町農業青色申告会

会長 伊藤 基行  
 副会長 中島 稔  
 “ 岡部 卓兆  
 役員 一同

### 常呂町農協利用者 年金友の会

会長 佐藤 國昭  
 副会長 林 敏洋  
 “ 小野寺 敏洋  
 役員 一同

# 新年あけまして おめでとろございます

参事	管理部長	管理部長	管理部長	農業振興係長	営業企画係長	営業企画課主任	信用部長	信用部長	信用部次長	経営相談課長	金融共済課長補佐	生産部長	生産部次長	営業推進室長	販売課長	青果係長	施設コントラ課長	施設コントラ係長	資材課長	資材課長補佐	他
石山	内匠	田淵	鈴江	名越	木村	樋渡	今橋	武田	高橋	高橋	高橋	鈴木	築紫	金澤	原田	古川	佐藤	中村	望月	藤澤	他
茂実	英樹	収一	陽介	伸一	由紀	一剛	一誠	一誠	英昇	英昇	英昇	英昇	英昇	英昇	和洋	雄樹	克孝	泰俊	和弘	一和	同

## 初春

常呂町農協漁協  
共同給油所

課所	運営委員長	他
長	江田	他
長	山田	役員
他	深尾	一哲
職員	雄希	同
同	哲	



# JAとこころホームページを 全面リニューアル!

JAとこころ（川上和則組合長）は12月、公式ホームページを全面リニューアル公開しました。平成24年に公式ホームページを開設して以来、経年によりJAにおける情勢の変化やブランド化への取組など事業活動が多様化してきたことに伴い、積極的な情報発信が求められていました。今年7月にはHPリニューアルに先立ち、公式SNS（Twitter）を開設し、JA事業活動や時事の話題を内外に提供しています。

新しいHPは、「JAとこころ魅力発信サイト」と銘打ち、同JAのオリジナルロゴマークの赤を基調にしたビビットなデザイン。サイト内は4つのカテゴリーに分かれ、「知る」では町の歴史とカーリングの話題を盛り込み、「もの」では、すべて令和元年産農産物を撮影して紹介しています。

女性農業研修を紹介する特設ページでは、研修希望者が常呂町での暮らしや研修内容をイメージしてもらいやすい構成に工夫しています。また、農林水産省の地理的表示制度（GI）に申請中の「とこころピンクにんにく」ページを開設し、

ブランド力強化に向け積極的なPR活動を行っています。

スマートフォンでも見やすい設計がされているので、組合員専用ページなどの閲覧も気軽にできます。SNSを併用した情報発信も継続します。

新しく生まれ変わったHPを通して、多くの人々に常呂町の農業や地域に興味を持ってもらい、活気と情熱あふれるところ農業の魅力を伝えるのが企画の根幹。要となる写真撮影や話題提供を通して、組合員の皆様も「魅力発信」へのご協力をお願い致します。

## スマホ版トップページのご紹介



スマホからも見やすい！  
QRコードでアクセスして  
お気に入りの登録しよう！



メニューからページの詳細を  
ご覧いただけます！

実はYouTubeチャンネル  
もあるよ！

そかわいいわね...



うえる研修生募集  
ページも充実！

モデルにご協力いただいた  
中島満里奈さん(左)と  
齊藤瑞季さん



とこころピンクにんにく  
のPRページを設けました！



引き続きよろしく  
お願いします！  
HPからもご覧  
いただけます！



# 子 年 職 員

～今年はこんな  
年にします～

人との繋がりを  
大切に!



生産部長  
鈴木 英夫  
S35年2月生まれ

飛躍できる  
年にしたい



生産部 資材課長  
望月 泰男  
S35年8月生まれ

前向きでも  
後ろ向きでも  
とりあえず“進む”



生産部 販売課  
佐々木 毅彦  
S59年1月生まれ

1年間笑顔で  
いられるように



管理部 管理課  
阿部 楓  
H8年11月生まれ

幸せな1年に  
なりますように



信用部 金融共済課  
永井 みちる  
H8年10月生まれ

## 退職のお知らせ



生産部 販売課農畜産係長  
堤 和弘

歳晩の候、組合員の皆様におかれましては、益々、ご繁栄の事とお慶び申し上げます。

さて、私事ではございますが、十二月末日をもちまして退職致しました。

昭和55年4月に入組してから土地改良係に配属となり、技術員として、常呂町の土地基盤整備を主に従事し、その後、販売課（青果担当）、営農企画課、資材課、販売課（農畜産担当）と約40年間に亘り勤めさせて頂きました。また、在職中は、何かとご迷惑をお掛けする事も多々ございましたが、組合員の皆様、役員並びに関係機関の皆様方のご指導・ご厚情に支えられました事に心より厚くお礼申し上げます。

最後になりましたが、皆様の益々のご健勝とご多幸並びに常呂町農業、JAとこのさらなるご発展をご祈願申し上げ、退職の挨拶とさせていただきます。

誠にありがとうございました。

## 行事予定表

1月1日(水)~1月31日(金)

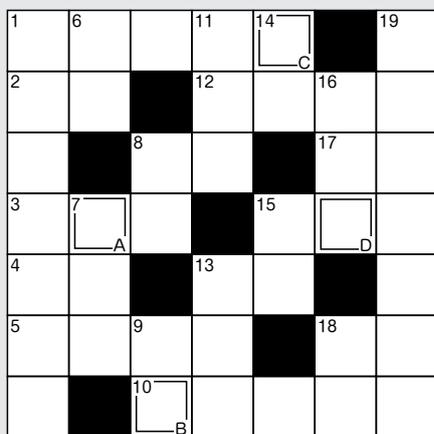
- 1月 1日(水) 元日
- 1月 6日(月) 信用部仕事始め
- 1月 7日(火) 事務所仕事始め  
・新年交礼会
- 1月11日(土) 閉組日
- 1月13日(月) 成人の日
- 1月18日(土) 閉組日
- 1月21日(火) 女性部通常総会
- 1月23日(木) フレッシュミセスの集い
- 1月24日(金) 常呂町玉葱振興会通常総会
- 1月25日(土) 閉組日
- 1月26日(日) 農休日
- 1月27日(月) 第12回定例理事会

## 第10回理事会報告<11月25日開催>

- ◆役員報酬審議会要領の改正及び委員の選任について
- ◆令和元年度施設利用料金の徴収について
- ◆小麦乾燥施設の補修工事について
- ◆令和元年産原料てん菜の概算払について
- ◆令和元年産共計小豆の仮渡金について
- ◆令和元年産共計大豆の仮渡金について
- ◆令和元年産共計玉葱の仮渡金について
- ◆組合員の出資金譲渡について
- ◆農林年金の特例業務負担金の長期前納について
- ◆給与規程の一部改正について
- ◆労働組合からの要求事項について
- ◆年末手当の支給について

### <報告事項>

- ◆10月末仮決算報告について
- ◆令和元年産共計小麦の概算精算について
- ◆平成30年産小豆の本精算について
- ◆第10回JAところ収穫“菜”の報告について
- ◆あぐり恋活withところ2019の開催結果について
- ◆令和元年度台風などにかかるJAグループ支援募金の結果について
- ◆北見産農産物などの台湾輸出研究に係る現地視察報告
- ◆組合員の加入・脱退について
- ◆農業委員会開催結果について



## Crossword Puzzle

### ~クロスワード・パズル~

二重マスの文字をA~Eの順に並べ替えて出来る言葉は何でしょうか?

#### ヨコのカギ

- ①元日の寺社が混雑する理由
- ②霊峰も銀峰もこれです
- ③バイオリンやピオラより大きな弦楽器
- ④魚偏に里と書く魚
- ⑤破(わ)れ鍋にお似合いです
- ⑧一〇〇ニタカミナスビ
- ⑩擦りむいた膝やあかぎれに塗ります
- ⑫浅草寺の表参道にある〇〇〇〇商店街
- ⑬今より前の時点
- ⑮てこの〇〇〇を利用して重い物を動かした
- ⑰ゲーとパーではパーの方
- ⑱英語ではkingと言います

#### タテのカギ

- ①「生麦生米生卵」とか「東京特許許可局」とか
- ⑥夫の配偶者です
- ⑦生まれたばかりの赤ん坊のこと
- ⑧ゆっくりつかって「極楽、極楽〜」
- ⑨剣や弓矢、大砲などのこと
- ⑪首の後ろ側の部分
- ⑬〇〇〇をのんでなりゆきを見守った
- ⑭刑事を意味する俗語
- ⑮お酒は飲めない体質です
- ⑯こたつに似合う果物
- ⑰の記号で表すことも
- ⑱だて巻き、数の子、黒豆などを重箱に詰めて用意します

### 先月の当選者・解答

12月号のまちがい探しの答えは、「1、4、6、9、11」でした。抽選の結果、次の方が当選しました。おめでとうございます。

吉岡 夏希さん(岐阜)

※( )内は地区名です。

### 応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えと広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。抽選で、洗車カード5,000円分を抽選で1名の方にプレゼントします。

### 読者の声

★勉強になり、とても楽しく読ませてもらいました。これからも楽しみにしています!!  
(匿名希望)

★まちがいさがし楽しかったです。いつも家族でやっています!  
(富丘地区・今橋 蓮さん)

# 子年生まれの子どもたち

設問内容 ①趣味・特技 ②将来の夢 ③ご両親からの一言



森澤

太陽さん

H20年10月生  
父：正太さん

- ①野球をプレーすること・プロ野球選手をほぼ知っている
- ②プロ野球で活躍すること
- ③目標を持って何事も一生懸命頑張ってください。(父)  
勉強や野球を頑張る太陽のことを応援しているよ。夢に向かって頑張ってくださいね。(母)



近藤

凜香さん

H20年10月生  
父：圭介さん

- ①スキー・絵を描くこと
- ②まだ決めていません
- ③畑の仕事を手伝ってくれて助かります。たくさん外遊びをして元気いっぱい成長してほしいです。



土本

翔大さん

かける  
H20年8月生  
父：大輔さん

- ①ゲーム・サッカー
- ②サッカー選手
- ③これからも楽しんで色々頑張ってください！



今橋

心さん

H20年8月生  
父：賢一さん

- ①風景写真を撮ること・ダンス・ピアノ
- ②風景写真家
- ③これからも興味を持ったことにたくさん挑戦して“心”らしく毎日楽しく過ごしてください。



鈴木

あゆむ  
亜歩さん

H20年3月生  
父：輝雄さん

- ①LEGO・水泳
- ②人の役に立つ仕事をする
- ③4月から中学生になりますね！たくさん経験して、視野を広げて下さい。応援しています！



芥川

綾菜さん

H20年2月生  
父：将明さん

- ①音楽を聴くこと
- ②考え中です
- ③“今”を楽しんで下さい。

## 編集後記

●組合員の皆様、そしてご家族の皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年は当JA広報誌「光と風の大地」をご愛読いただきありがとうございました。本年も編集委員一同、皆様により一層「親しまれる広報誌づくり」を目指していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお祈り致します。

《営農企画課：広報担当》

## 今月の表紙：子年生まれの子どもたち

今月の表紙は、今年の干支の子年を迎える「年男・年女」の6人のお子さんにご協力いただき、新年号の表紙を飾りました。

「子年・新年おめでとう！」の文字を丁寧に色塗りしてもらい、常呂の海を背に晴天の中、無事撮影することができました。とても寒い中での撮影でしたが、撮影終了まで終始笑顔でいてくれて「子供は風の子」であるなど実感しました。

ご家族の皆さんも寒い中、協力していただきまして誠にありがとうございました。